

2022年6月27日

## 2022年夏のボーナスに関する調査について

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	県民の2022年夏のボーナスに関する動向を調査し、卸・小売事業者や金融業などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。
調査時期	2022年6月上旬
調査方法 <sup>注</sup>	南日本新聞社の「みなみパス会員」による「みなみアンケート」(インターネット調査)にて、夏のボーナスの支給の予定がある方を対象に実施
回答数	有効回答数 384人
回答者属性	<b>【性別】</b> 男性 44.8% 女性 55.2% <b>【年齢別】</b> 20代 3.1% 30代 9.9% 40代 31.5% 50代 41.1% 60代 13.5% 70代以上 0.8% <b>【地域別】</b> 鹿児島地区 51.0% 南薩地区 6.3% 北薩地区 10.9% 始良・伊佐地区 11.2% 大隅地区 11.2% 熊毛・大島地区 9.4%

### 【調査結果のポイント】

- 今夏のボーナスが前年(2021年夏)と比較して、「増えそう(増えた)」と回答した割合は全体の11.5%だった。一方、「変わらない」は51.3%、「減りそう(減った)」は37.3%だった。
- 今夏のボーナスの使い道は、「生活費の補てん」(66.4%)が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」(47.4%)、「ローン返済」(31.8%)、「教育費」「旅行・レジャー費」(ともに20.1%)と続いた。足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に使う傾向は依然として強い。
- 年代別にみると、どの年代も上位2項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3位の項目は年代別に違いがみられた。

<sup>注</sup> 前回までは鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者を対象に聞き取り調査を実施。今回調査と調査方法・対象などが異なることから、前回調査結果と単純な比較はできない。

## 1. 2022年夏のボーナスの増減予想について

2022年夏のボーナスが前年(21年夏)と比較してどうなるか尋ねたところ、前年より「増えそう(増えた)」「(増えそう(増えた))と「やや増えそう(増えた)」の合計)は全体の11.5%だった(図表 1-1)。一方、「変わらない」は51.3%、「減りそう(減った)」「(減りそう(減った))と「やや減りそう(減った)」の合計)は37.3%だった。年代別にみると、「増えそう(増えた)」と回答した割合が20代(25.0%)、30代(26.3%)で全体平均より高い一方、「減りそう(減った)」と回答した割合が40代(38.0%)、50代(39.8%)、60代(42.3%)で全体平均より高くなった。調査方法は異なるが、前回調査(21年夏)では「増えそう(増えた)」が全体の8.6%、「変わらない」が66.1%、「減りそう(減った)」が25.3%であった(図表 1-2)。今回調査でも「増えそう(増えた)」より「減りそう(減った)」の方が大幅に上回る結果となった。

## 2. 2022年夏のボーナスの使い道について

2022年夏のボーナスの使い道について尋ねたところ、「生活費の補てん」(66.4%)が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」(47.4%)、「ローン返済」(31.8%)、「教育費」「旅行・レジャー費」(ともに20.1%)と続いた(図表 2-1)。調査方法は異なるが、前回調査(21年夏)でも「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」の順に多かった。足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に使う傾向は変わらない。

男女別にみると、男性は「生活費の補てん」「ローン返済」「衣料品などの購入」と回答した割合が女性より高く、女性は「旅行・レジャー費」「耐久消費財の購入」「理美容費」と回答した割合が男性より高かった(図表 2-2)。

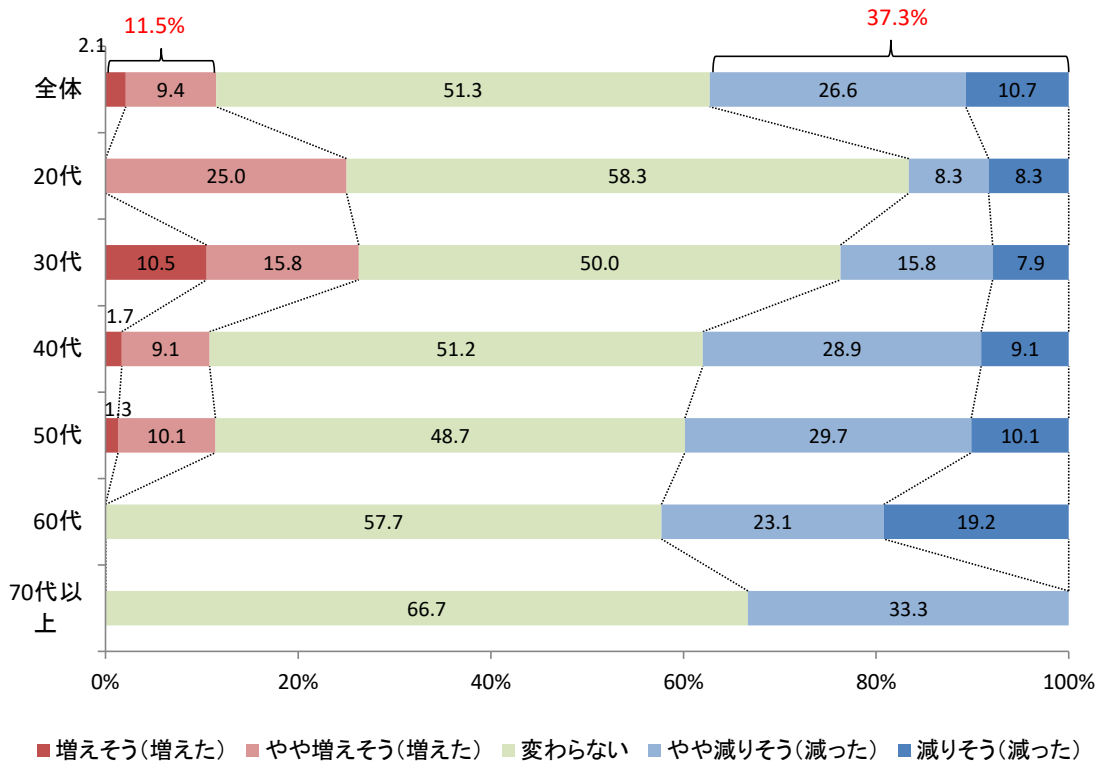
また、年代別にみると、どの年代も上位2項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3位の項目は年代別に違いがみられた(図表 2-3)。

以上

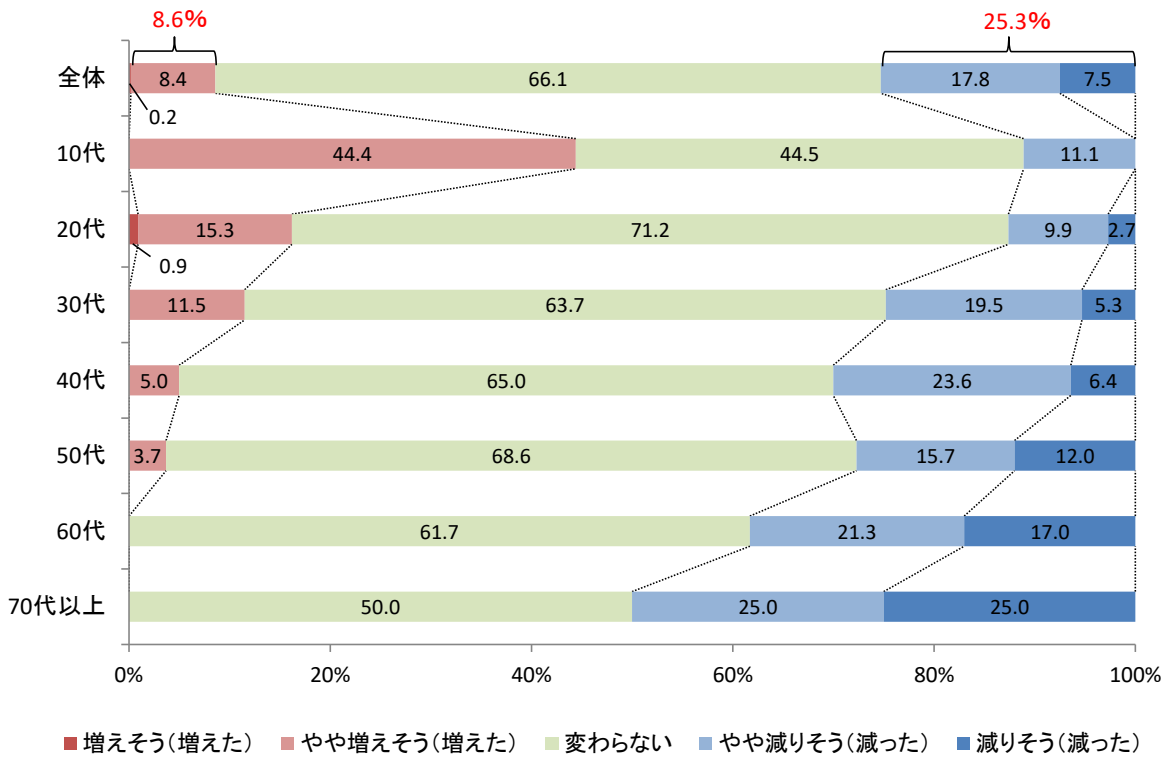
【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)

【2022年夏のボーナスについて】

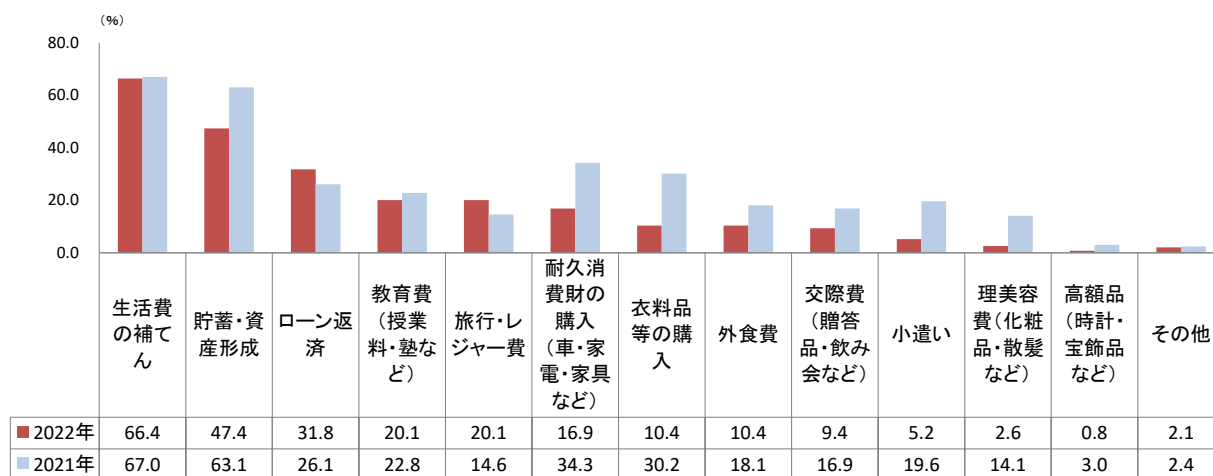
図表 1-1 2022年夏のボーナスの増減予想



図表 1-2【参考】(前年調査)2021年夏のボーナスの増減予想



図表 2-1 夏のボーナスの使い道(全体)



図表 2-2 夏のボーナスの使い道(男女別)

単位: %

項目	全体	男性	女性
生活費の補てん	66.4	69.8	63.7
貯蓄・資産形成	47.4	46.5	48.1
ローン返済	31.8	35.5	28.8
教育費(授業料・塾など)	20.1	20.3	19.8
旅行・レジャー費	20.1	16.3	23.1
耐久消費財の購入(車・家電・家具など)	16.9	15.1	18.4
衣料品等の購入	10.4	12.2	9.0
外食費	10.4	10.5	10.4
交際費(贈答品・飲み会など)	9.4	8.1	10.4
小遣い	5.2	4.1	6.1
理美容費(化粧品・散髪など)	2.6	0.6	4.2
高額品(時計・宝飾品など)	0.8	1.2	0.5
その他	2.1	1.2	2.8

図表 2-3 夏のボーナスの使い道(年代別)

	1位	2位	3位
全体	生活費の補てん	貯蓄・資産形成	ローン返済
20代			衣料品等の購入、交際費
30代			ローン返済、旅行・レジャー費
40代			ローン返済
50代			ローン返済
60代			耐久消費財の購入
70代以上			耐久消費財の購入、衣料品等の購入 旅行・レジャー費、外食費

注) 70代以上は2位の「貯蓄・資産形成」と3位の使い道は同数